

試験区分：化学 教室系

Q . 仕事内容を教えてください。

A . R Iセンターの維持、管理、試薬、実験器具等の管理、学生実験補助などを行っています。

Q . 研究者との違いは何ですか。

A . 研究者とは異なり、自身は研究に関わらず維持、管理に専念します。

Q . 取得しておいたほうがよい資格や知識はありますか。

A . 放射線取扱主任者の資格があると役立ちます。

Q . 二次試験の内容はどのようなものでしたか。

A . 個人面接でした。専門分野についての質問がありました。他には、なぜ志願したか、何をしたいか等の質問がありました。

Q . どのような人材が求められていると思いますか。

A . 教室系技術職員の職務は、大学の基幹的業務である教育研究（理系分野）を直接サポートするものであり、科学技術の進歩に応じた最新の知識・技術の修得に意欲を持って取り組む人材が求められています。

Q . 研修制度について教えてください。

A . 採用後早い時期に事務系職員と合同で初任者研修があります。国立大学の職員として備えるべき一般的知識の修得を目的としたものです。また、学内で全ての部局の教室系技術職員を対象とした教室系技術職員専門研修を受講することができます。こちらは教室系技術職員固有の専門知識・技術の修得を目的としたものです。

Q . 人事異動はどのようになっていますか。

A . 一定の経験を積み、専門的知識・技術を深化させて、スキルアップを図ることにより、能力に応じて上位の職位「技術専門職員」、「技術専門員」に昇進することが可能となる。また、これとは別に所属部局ごとに教室系技術職員で組織される「技術部」において、職責に応じて「技術主任」、「技術班長」、「技術長」等の組織上の名称を付与されることがある。

Q . 他機関との人事交流はありますか。

A . 基本的に他機関への計画的な人事交流による異動はありません。